

2025 年度 外国語コンテスト フランス語部門講評

経営学部 下村 武

2025 年度のフランス語部門の外国語コンテストは 10 名の申し込みがあり、11 月 27 日に 9 名の参加者によって行われました。昨年の 23 名の参加に比べると少なくなりましたが、今までにないレベルの高いコンテストになりました。審査は例年どおり中尾先生、永田先生、ピータース先生と私の名古屋キャンパスのフランス語教員の 4 名が務めました。

今年度の課題は十七世紀ルイ十四世紀宮廷詩人でもあった、シャルル・ペローの『サンドリヨン』の一場面をフランス語で朗読するというものでした。これはのちにウォルト・ディズニーのシンデレラのアニメ作品の原作にもなっているといえは皆さんはピンとくるかもしれません。別の授業でも話をしていますが、サンドリヨン（シンデレラ）というのは主人公の女性の名前ではなく、尻が灰まみれという意味のあだ名です。フランス語部門の結果は、1 位は国際コミュニケーション学部 2 年の太田さん、2 位は国コミ 3 年の川口さん、3 位は国コミ 3 年の仙石さんにきました。1 位の太田さんは他の学生がテキストを読みながら朗読をするなか、ただひとり暗誦した参加者であったのも高い評価につながりました。1 位になった太田さんには来年の 12 月に、毎年京都外国語大学で行われるフランス語プレゼン大会にも参加してもらおうと話が進んでいるところです。このフランス語プレゼン大会は、日本全国からフランス語を勉強している学生が集まりスライドを使ってフランス語でプレゼンをして日頃のフランス語学習の成果を競うという大会です。フランス大使館や全日空がスポンサーについているので、入賞すればフランスに行けるかもしれませんね。

外国語コンテストだけでなく、毎年春と秋に行われるフランス語検定では名古屋キャンパスと豊橋キャンパスの学生で毎回団体受験を行なっています。他にもフランスのオルレアン大学との交換留学やフランスの大学での語学研修にも多くの学生が参加してくれることをわれわれ担当教員が切に願っているとともに、教員も一緒に取り組んでいきたいと考えています。

最後になりましたが、今回参加してくれた学生さんたちどうもお疲れさまでした。来年もまた多くの学生が参加してくれることを期待しています。

